

2013 7月

OIT Website
<http://www.oit.ac.jp>

およど

ひとことメッセージ

グローバル化の21世紀において、皆さんにぜひ国際的に通用できる人材になる志を持ってほしいです。大学時代は、語学力だけでなく国際的な視野、感覚および考え方を身に付けることは大変重要です。



工学部 電子情報通信工学科 教授
周 虹 (専攻: 通信工学)

CONTENTS

新入生歓迎行事を実施 ②

大学院進学のおすすめ ③

- イメージしてみませんか? 大学院生になった私
- 各研究科で活躍する大学院生からみなさんへ

鳥人間コンテスト出場決定! ⑤

学祭イベント案内 ⑥

バドミントン部3連続昇格 ⑦

OIT-NEWS

食堂一押しメニュー

「カレーフェア開催中!」 ⑧

新入生ふれあい“I CAN” キャンプ に行ってきました♪

4月20、21日の2日間、奈良県吉野郡吉野町の宮滝野外学校で「新入生ふれあいキャンプ ～I CAN～」を実施しました。このキャンプは2006年度から続く春の恒例行事で、新入生の大学生活スタートの一助として、また豊かな人間関係を育む集団活動の機会として実施しています。



みんなすっかり仲良くなりました



楽しかったハートアクティビティ

キャンプには新入生や上級生リーダーなど108人が参加しました。1日目は、昼食の簡単クッキングからスタートし、友達作りのトレーニングゲーム「ハートアクティビティ」、カレー作りやグループごとに出し物を考えて発表する「パフォーマンス

ナイト」を楽しみました。2日目は前日夜からの雨が朝はやまず心配しましたが、山登り出発時には雨もあがり、予定どおり「ディスカバリーウォーク」という山登りに挑戦しました。くたくたになって頂上で食べた手作りのいなり寿司は格別の美味しさでした。

グループごとの活動では人との関わり方を学んだり、プログラムを通して徐々に友人を増やしていく様子が見られました。また、上級生リーダーがリーダーシップを発揮し、しっかりグループをまとめてくれたことで、この2日間は新入生にとって楽しく充実したキャンプとなりました。これからの新入生の活躍に期待しています!



みんなで仲良くご飯づくり

新入生オリエンテーション

大学生活をスタートさせた新入生をサポートするために、オリエンテーションが4月～6月に各学部、各学科で実施されました。施設見学や体験学習などを通して先輩や先生方と親睦を深めるこのオリエンテーションはすっかり定着し、春の恒例行事になりました。

行き先で最も多かったのは、本学と交流の深い奈良県吉野郡川上村。工学部W科、E科、K科、V科、U科、情報科学部IN科の6学科が川上村の大自然の中で体験学習などを行いました。工学部C科は淡路島の被災復興関連施設、A科は関西国際空港、M科は東大阪の企業の工場、D科は大阪市立科学館をそれぞれ見学し、これから本学で学ぶ技術や専門知識の重要性を再認識しました。また、工学部R科はミニロボコン、知的財産学科はバーベキュー、情報科学部IS科、IM科はグループワーク、IC科は創作ダンスを通して友好を深めました。先生方や先輩から大学生活を送るにあたってアドバイスもいただき、参加した学生の皆さんから「仲間ができた」「受身ではなく積極的に知識を取り入れようと思う」との意見が聞かれ、大学生活の最初の良い思い出になったようでした。



本学の歴史を勉強中



大自然をハイキング中

留学生歓迎会を開催 ～中国、サウジアラビアなどから24人が仲間入り～

今年も去る4月24日、大宮西学舎研修センターで留学生歓迎会を開催しました。学部・大学院生、研究生を合わせて計4カ国24人の新入生が会場で紹介され、先輩留学生や教職員関係者からあたたかな拍手で迎えられました。また、会の半ばに新入生から自己紹介もあり、一人ずつ日本語で今後の抱負などが語られ、留学生同士や教職員関係者と話が弾み、親交を深めていました。当日は課外活動団体の国際友好部メンバーによる進行で、日本の常識に関するクイズ大会を行ったほか、文化会茶道部の協力により恒例のお茶のお手前も披露してもらい、歓迎ムードを盛り上げました。

将来、彼らが日本の企業や母国の指導者として活躍できるよう、これからの学業に期待したいと思います。



出席者全員で記念写真



大学院進学のおすすめ

イメージしてみませんか? 大学院生になった私

みなさんは、大学院進学について考えてみたことはありますか? 大学院は勉強が好きな学生だけが行く特別な所ではありません。学部教育で身につけた知識や技術をより深めるためにも、就職と同様に進路のひとつとして、大学院進学についても考えてみませんか?

Q.1 学部と大学院の違いは?

- 学部4年間の基礎知識に加えて、幅広く高度な知識と技術を学びキャリアを進展できます。
- 自らが研究に参加することで、講義を聞く受身の姿勢とは異なり面白さを実感!
- 就職について、学部 비해就職率、大手企業比率が高い。(研究・開発職には院卒が求められる。)

大学院では、主体性や専門的な実務能力を養います

Q.2 大学院ってどんなところ?

百聞は一見にしかず”積極的に研究室を見学に行って、疑問に思ったことは先輩や先生に質問してみましょう”

Q.3 学費っていくらかかるの?

■工・情報科学研究科(博士前期課程)

【2013年度実績】

| 学 費 | 1年次 | | 2年次(年額) | 合計(2年間) |
|-----|----------|----------|------------|------------|
| | 入学手続納入 | 後期納入 | | |
| 入学金 | 150,000円 | — | — | 150,000円 |
| 授業料 | 500,000円 | 500,000円 | 1,000,000円 | 2,000,000円 |
| 合 計 | 650,000円 | 500,000円 | 1,000,000円 | 2,150,000円 |

■知的財産研究科(専門職学位課程)

【2013年度実績】

| 学 費 | 1年次 | | 2年次(年額) | 合計(2年間) |
|-----|----------|----------|------------|------------|
| | 入学手続納入 | 後期納入 | | |
| 入学金 | 200,000円 | — | — | 200,000円 |
| 授業料 | 660,000円 | 660,000円 | 1,320,000円 | 2,640,000円 |
| 合 計 | 860,000円 | 660,000円 | 1,320,000円 | 2,840,000円 |

※本学出身者は、入学金の減免(半額)を受けることができます。
上記以外に1.4万円程度の諸会費(年額)が必要です。

Q.4 どんな支援が受けられるの?

☆特待奨学金として、年間授業料の全額を給付

★学内一般奨学金は、年間授業料の半額(工・情)および3分の1相当額(知)

☆日本学生支援機構奨学金(貸与制)で、学費相当額を貸与することも可能

奨学金の詳細は、学生課・情報科学部事務室にお問い合わせください

各研究科で活躍する大学院生からみなさんへ

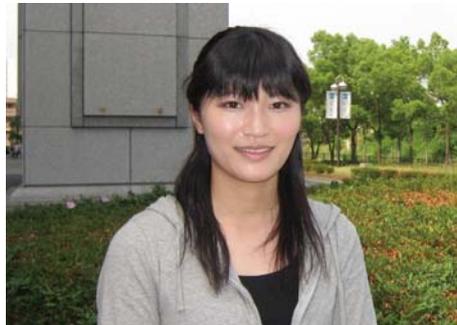
本学では高度な研究の場で、多くの大学院生が専門性を培っています。
現役大学院生に、大学院に進学した理由や現在の学びについて語ってもらいました。



工学研究科
都市デザイン工学専攻2年次
博士前期課程

金森 隆さん
内定先 清水建設(株)

私が大学院進学を決意したのは大学3年の3月。東日本大震災が起きた年でした。“今、自分に何ができるのか”を考えたとき、『耐震』についてもっと専門的な知識を学ぶ必要があると強く感じ進学を決めました。大学院では「コンクリートPC柱部材の耐震性能」をテーマに、コンクリート技術とその耐震性能について研究しています。自然災害への備えを万全に期すために役立てる技術を生み出すことが目標です。主に研究施設で実験を行うことが多く、特に八幡工学実験場では西日本有数の工学実験場と呼ばれるだけあって、大規模で高度な実験ができ大変勉強になります。私の将来の夢は、大学院で学んだより高度な専門知識と技術を生かして自然災害に負けない国づくりに貢献できるエンジニアになること。社会人になっても積極的に学ぶ気持ちを忘れず、大きく成長していきたいと思っています。



情報科学研究科
情報科学専攻2年次
博士前期課程

鍛冶屋 里紗さん
内定先 ソフトバンク(株)

3年後期のゼミ配属で研究室を訪れたとき、研究活動を熱心に行う先輩の姿に憧れて大学院進学を意識しました。しかし進学すれば学費や時間が必要になるため、進路について悩んでいたところ「若い間に勉強することはとても大事。今しかできないことをやるべき。」と指導教員からアドバイスいただき、大学院進学を決意しました。現在行っている研究は、コンクリート表面のひび割れを画像にして自動検出するもの。ダムや高速道路など大型構造物に対しても活用でき、震災時にも役立てることが可能です。大学院では同じ研究室の学生のほか、他大学院生とも関わることが多いので、意見を聞くことの大切さや自分の考えを伝えることの難しさなど、学術的なことだけでなく、実社会で役立つ多くのことが学べます。将来は英語を使った仕事をすることが私の夢です。大学院で得た高度な知識と技術を生かして、世界に羽ばたいていきたいと思っています。



知的財産研究科
知的財産専攻1年次
専門職学位課程

辻本 佳世さん

私が以前、薬学部在籍していた時、エイズ治療薬と特許権について学ぶ機会がありました。それはエイズが蔓延している国の多くの患者が、治療薬が高価なために薬を手に入れることができないというもので、治療薬の価格に特許権が大きく関わっていることを知りました。薬の基礎的な知識を活用しつつ、より広い視野で薬に携わりたいという思いから、知的財産学部への編入学を決意。当初は理系と文系の違いに戸惑いましたが、官公庁や企業で知的財産実務の第一線で活躍されてきた経験豊富な先生方から、教科書だけではわからない現場の知的財産を学び、知的財産の重要性や奥深さを実感しました。次第に「もっと深く知的財産を学びたい」という思いが強まって、今年4月に大学院へ進学。この夏にはインターンシップに参加し、特許権や商標権に関わる業務を最前線の現場から学ぶ予定です。これから本格的に始まる大学院での研究が楽しみです。

ライブラリーカフェを開催 ～ゆったりとした時間を図書館で～

コーヒーやクッキーをゆったり楽しみながら読書やイベントに参加できたら…こんな学生の夢がライブラリーカフェとして実現しました。図書館で6月4日、本学で初めてライブラリーカフェが開催され、147人も学生や教職員でにぎわいました。

ライブラリーカフェ形式は最近の図書館や書店でも新しいトレンドとなり、すでに各地で多くのカフェがオープンしています。本学でもその流れを受けて、ラーニング・commons(好みのスタイルに合わせて作りだす学習空間)のレイアウトをコンペ形式で募集し、1月から3月にかけて審査して完成させたラーニング・commonsのオープン記念として展開。さらに、ライブラリーサポーターによる各種ミニ講義、城北水辺クラブの展示、英語の絵本による楽しい英語体験などを行いました。

カフェということで、レギュラーコーヒーとクッキーを無償で提供、参加した学生のほぼ全員がアンケートにおいて「また、参加してみたい」と

こたえていました。

図書館では「普段と違ったゆったりした雰囲気、より身近に本を楽しんでもらえれば」と、次からの企画にも積極的に取り組んでいくつもりです。



リラックスムードで好評だったライブラリーカフェ

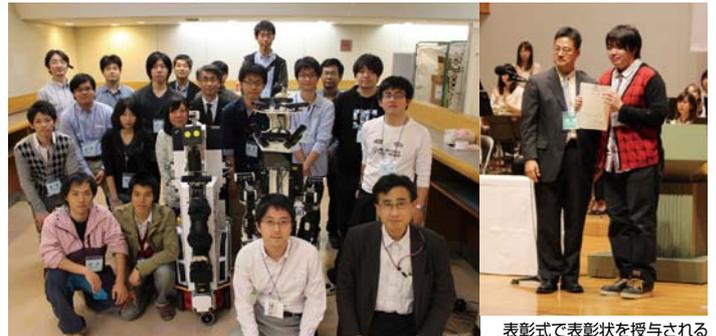
「ロボカップジャパンオープン2013東京」で本学チームが2種目で優勝!!

5月4日から6日にかけて、自律移動型ロボットがサッカーやレスキューなどの競技で競い合うロボット界のビッグイベント「ロボカップジャパンオープン2013東京」に本学チームが出場し、2種目で優勝に輝きました。

工学部と情報科学部の合同チーム「O.I.T.Trial」は、家庭環境におけるロボットとの共存の可能性を探る「ロボカップ@ホーム」に出場。工学部のロボット「ASAHI」と情報科学部のロボット「昴」の2体がそれぞれ複数の競技で行ったデモンストレーションでは、ロボットと人との自然なコミュニケーションや、動作の信頼性・安全性などが総合的に高く評価され、一昨年、昨年の準優勝の雪辱を果たし、念願の初優勝となりました。

また、工学部と大阪大学との合同チーム「JoiTech」は、「ロボカップサッカー」ヒューマノイドリーグのアダルトサイズに出場し、決勝では台湾チームとPK戦を繰り広げました。お互いのロボットが制限時間内でボールまで移動し、シュートする競技で「JoiTech」のロボット「Messi」が見事ゴールを決め、勝利(優勝)を収めると、観客たちから歓声と拍手が沸き起こりました。

そのほか、情報科学部の学生チーム「OIT-DACRS」は、世界の都市を模擬したコンピュータ上の仮想空間で、プログラム上のロボットたちが災害発生の救助、火災現場の消化、がれき撤去などのレスキュー活動を行う「ロボカップレスキュー」シミュレーションリーグに出場し、健闘しました。



工学部と情報科学部の合同チーム「O.I.T.Trial」

表彰式で表彰状を授与される「O.I.T.Trial」チーム

カウンセラーのひとり言 「リズム調整」してますか?

カウンセラー 山本 有恵

先日おもしろい記事を見ました。日本のアスリートは、大事な試合の前に「1ヶ月サボったけど勝つ」と「1ヶ月ストイックに努力したけど負ける」のなら、「努力して負ける方が良い」と答える人が極めて多いと言うのです(なんと95%以上だとか)。記事ではこれを「頑張り依存」と評していました。「依存」は言い過ぎかもしれませんが、私たち日本人には確かに「苦労の美学」と呼ぶべきものがあり、「頑張ること」「努力」が何より大切だと思いがちなところがあります。また、頑張っていないことに罪悪感を抱く傾向も強いようです。頑張りすぎて鬱になる人が増加しているのは一つの社会問題にもなって

いますが、では「頑張らない」のが正しいのでしょうか?…と、言い切ってしまうとこれもまた常にそうとは言えないでしょう。やはりどうしても頑張らなければいけないときはあるものです。

どちらを選ぶにしても、「人生」という大きな流れとリズムのなかで、「そういうときがある」のだと思います。そして、そういう「休むとき」にも「頑張るとき」にも、人それぞれのタイミングと意味があります。どちらも大切にして、自分の人生の「リズム調整」をすることが、人間には欠かせないのかもしれない。

心理学アラカルト 「劣等感」の持つ力

カウンセラー 友尻 奈緒美

劣等感と聞くと、ちょっとドキッとする人もいるでしょうか。この言葉は、あまりいいイメージで使われることは少ないかもしれませんが、「数学に劣等感がある」とか「Zくんに劣等感を感じる」とか、自信が無かったりするものや相手に対して言ったりしますね。他の人よりも劣っていると思うと、やる気を失くしてしまったり、卑屈になったりしてしまいがちですが、実は心理学ではこの「劣等感」について、プラスの効果も見出されています。これを最初に取り上げたのは精神科医のアドラーで、人は劣等感を感じることで、劣等感を解消しようと、さまざまな努力を発揮する可能性があるということを指摘し、このこと

を劣等感の「補償作用」と呼びました。

みなさんの中にも「悔しかったから頑張った!」という経験を持っている方はいませんか?もちろん世の中、努力だけで克服できることばかりではありません。でも「数学は苦手だけど、英語は人よりも勉強した」というように、他のことで「△△があまりできない分、〇〇をもっとやってみよう!」という気力が湧き出ることもあります。人と比べて落ち込んでしまった時、どうしたら自分の力がうまく発揮できそうか、探してみるのも一手かもしれません。



「鳥人間コンテスト2013」に出場決定!!

7月27日、28日に琵琶湖(彦根市松原水泳場)で開催される「鳥人間コンテスト2013」(主催:読売テレビ)に本学の「人力飛行機プロジェクト」チームが、2年連続で今年も参戦することになりました。

昨年同様「人力プロペラ機ディスタンス部門」(飛行距離競技)に出場する本学チームは、昨年の出場チーム唯一の1枚プロペラにこだわりつつ、機体を3.4m延長すると同時に、軽量化に成功しました。注目のパイロットを務めるのは、体育会サイクリング部の小西優大君(M4)です。小西君は、数々のロードレースで優勝したことがある実力の持ち主で、自慢の脚力を生かして入賞を目指します。

昨年は初出場ながら11チーム中6位と健闘しましたが、今年は更に大きく羽ばたいてくれることを期待して、応援よろしくお願ひします。



ぜひ応援よろしくお願ひします!

うめきた・グランフロントに本学の拠点「ナレッジキャピタル」がオープン

「感性」と「技術」の融合により、「新たな価値」を生み出すことを目的とした複合施設「ナレッジキャピタル」が4月26日、JR大阪駅北側のグランフロント大阪にオープンしました。本学のオフィスが置かれるほか、「カンファレンスルーム」、「ナレッジシアター」、都市型会議施設「コングレコンベンションセンター」などからなり、グランフロントの中核施設として産業創出、文化発信、国際交流、人材育成の実現を図っていきます。

本学ではオープン後さっそく、公開講座「OITテクノフロンティア on ロボティクス」を開催。知的財産研究科の授業も始まり、大阪中心地での人材教育・交流が始まりました。

また、6月3日には「大学関西フォーラム」第12回シンポジウム「大学その魅力と可能性を考える」に、320人も大学関係者や市民が参加しました。本学学生部長で機械工学科教授の西川出先生もパネリストとして出演し、人工衛星をはじめとする大学でのいろいろなプロジェクトが、学生の人格形成や成長にかけがえのない貢献をしている、と力説しました。

今後も本学では「ナレッジキャピタル」を核として、大阪中心地のメリットを最大限に活用し、各種公開講座や学会、学生への教育の場を提供していくこととなります。



グランフロント外観

白熱の第15回情報科学部球技祭

6月8日に枚方キャンパスで、第15回球技祭が北山祭実行委員会の主催により開催されました。昨年度は天候に恵まれず雨で中止になりましたが、今年度は天候に恵まれ、絶好のスポーツ日和のなか白熱の球技祭となりました。

球技祭には1チーム約11人で構成された12チームの約130人が参加しました。朝9時半から参加者全員でウォーミングアップを行い、10時からトーナメント制による1回戦が始まりました。白熱の試合は16時半まで行われ、普段はなかなか見ることの出来ない学生の熱いプレーが会場を沸かせ、見事優勝に輝いたのは「Stingray A」でした。

球技祭が終わったところには、みんな日焼けで真っ赤に。北山祭実行委員会、参加者の皆さん本当にお疲れ様でした。



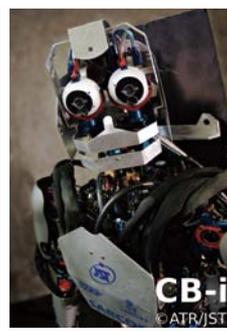
この一球に込める思い!

OITテクノフロンティア on ロボティクス

5月10日からうめきた・グランフロント大阪のナレッジキャピタルで、「知の発信」のスタートとして、ロボット工学科の公開講座「OITテクノフロンティア on ロボティクス」が開催されています。「ロボットは人間社会の中でどのように成長するのか」をメインテーマに全7回で行われ、産官学を含む日本のロボット研究第一線の方々を迎え、学生や企業関係者などが聴講に訪れています。

様々な分野で活躍するロボットの紹介、研究開発の最前線やロボット産業の問題点などの解説のほか、ものづくりに関わる技術者達の真摯な姿勢が学び取れる講座です。講義後には活発な議論が展開されるなど、将来のロボット技術を考える貴重な機会に講座は大盛況となっています。

| | 講師 | 演題 |
|--------------|----------------------|----------------------|
| 第1回 5月10日 | 産業技術総合研究所 比留川 博久 | ロボット達は どう成長するのか? |
| 第2回 5月29日 | ATR脳情報研究所 森本 淳 | 脳とロボットの インターフェース |
| 第3回 6月 7日 | 産業技術総合研究所 柴田 崇徳 | ロボットは人の心を 癒せるか? |
| 第4回 6月18日 | 横ロボリユージョン 小西 康晴 | ロボットシステム デザイナーの役割 |
| 第5回 6月25日 | ㈱安川電機つくば研究所 横山 和彦 | 産業用から 未来型ロボットへ! |
| 第6回 7月 3日 | ATR知能ロボティクス研究所 神田 崇行 | 人とロボットの コミュニケーション |
| 第7回 7月17日 | 大阪大学大学院教授 浅田 稔 | 赤ちゃんロボットは 人間発達謎を解く鍵? |



「地域クリーンキャンペーンに参加しよう!!」

本学では地域貢献を目的として大学周辺地域の清掃ボランティア活動「地域クリーンキャンペーン」に取り組んでいます。参加者にはポイントカードを渡し、ポイントを達成した人にアチーブメントシートを発行します。清掃中に地域の人から「ありがとう」と声をかけられたり、とてもいい気分転換になります。みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

- 日 時 毎週月曜日～金曜日(授業期間のみ)
①12:40～13:40(注1) ②16:40～17:40
(注1)1時間コース、30分コースか選択可。

- 参加方法 参加日と人数を事前に学生課に連絡。
清掃グッズは学生課に用意してありますので手ぶらでOK。

- その他 4回参加(30分コースは2回参加で1回)→
アチーブメントシート1枚発行



アチーブメントシートってなんだ?!

行事に参加・協力して大学や地域に貢献した学生に対して本学から発行されるボランティア活動証明書です。このシートの取得は就職活動でエントリーシートに記入するなど自己PRに活用できます。また、一定枚数以上取得した人には学長表彰(善行賞)の対象になります。

勉強だけではもったいない!! ～新入生歓迎フェスティバルを実施～

4月3日から5日にかけて、大宮キャンパスでは文化会本部・体育会本部・城北祭実行委員会・応援団が主催した「新入生歓迎フェスティバル」が開催されました。これは各クラブやプロジェクト団体が新入生に対し、「クラブ活動を通じて本学の良さを知ってもらおう」とクラブの活動内容などをPRする恒例イベントです。天候にも恵まれ、東中庭の特設ブースにはたくさんの新入生が足を運んでくれました。

また、東中庭ステージでは武道系クラブの演武やストリートダンス、音楽演奏などが披露され、盛大に新入生の入学が祝われました。



趣向を凝らした勧誘♪



熱弁をふるう先輩学生

新入生歓迎イベント 「桜春祭」を開催

枚方キャンパスで活動している課外活動団体を新入生に紹介するイベント「桜春祭」が、4月4日、10日の2日間、北山祭実行委員会の主催により開催されました。初日は教室で各団体の活動内容などが紹介され、2日目はエントランスホールに設置された団体毎のブースで個別紹介が行われました。ビンゴ大会も行われ、例年の「桜春祭」よりも一層盛り上がりのある「桜春祭」となりました。また、今年は大宮校地と枚方校地の課外活動団体の合併などによりクラブ内での交流が深まり、今まで以上に課外活動が活発になっています。

体育会フレッシュマンキャンプ開催!

6月22日、23日に体育会本部主催の『フレッシュマンキャンプ』を兵庫県の「やしろ会館」にて行い、80名の新入生・先輩学生が参加しました。

フレッシュマンキャンプは、体育会クラブに入部したフレッシュマン(新入生)を対象としたイベントです。これからクラブ活動をしていく上で、必要な知識や社会人基礎力である基本的なマナーやコミュニケーションを身に付けることを目的としており、西川学生部長、体育会会長藤井先生の講演をはじめ、体育館でのレクレーション(ドッジボール・バスケットボール・フットサル)でクラブの垣根を越えた新入生同士の交流を楽しんでもらいました。



体育会会長の講演に聴き入る新入生

集まれ!! 女子ラグビー部員

ラグビーは競技特性から男性のみが行うスポーツとみられがちですが、“女子ラグビー”は欧州や南半球では盛んな国が多く、2016年にはリオデジャネイロ夏季オリンピックの正式種目として採用されています。これを機に国内における各種大会が急速に増加するなど、“女子ラグビー”は今、日本でも注目を集めつつあります。

本学でも、男子同様に女子ラグビーを強化するための計画が進んでいます。すでに2名の女子部員が入部し日々「楽しく安全なラグビー」をモットーに活動しています。今後は「本学からオリンピック選手を輩出する」という目標もあり、高いレベルでの指導体制も整えていきます。興味のある女子学生諸君、一緒にオリンピックを目指しませんか。



オリンピックを目指す女子ラグビー部員

学祭イベント案内

大宮キャンパス 城北祭

10月
25日～27日
開催!!

大学といたら、やっぱり学園祭でしょ♪

“大学生活を楽しみたい”“大学生活の思い出作りがしたい…”などなどと思っている学生のみならず!今まで学園祭に参加したことがなくても、クラブやサークルに所属していなくても、城北祭は本学の学生はもちろん、どなたでも参加できますので、たくさんの友人を誘って遊びに来てください♪アーティストライブや吉本お笑いライブをはじめ、趣向を凝らした教室展示・ステージ企画と様々な企画を予定しています!一緒に思い出作ってみませんか?

詳しくは、下記の連絡先までお問い合わせください。



熱気あふれる相撲大会



大盛況のステージ企画

〔城北祭実行委員会〕

〔E-mail〕 shirokita_post@yahoo.co.jp

〔TEL〕 06-6953-8770

枚方 キャンパス 北山祭

11月3日
開催!!

ステージ出演者大募集!!

11月3日に開催される北山祭では今年もステージイベントを実施する予定で、その出演者を学内外から大募集しています。一緒に北山祭を盛り上げてみませんか?ダンスやバンド演奏、漫才など、大勢の前でパフォーマンスをしたいという方は、下記の連絡先へお問い合わせください。なお、希望者が多い場合は抽選となります。

今年も吉本お笑い芸人がやってくる! いつもTVで見ているお笑い芸人の漫才、トークショーを生で見るチャンス!! 入場料は無料です!!

そして、毎年恒例のビンゴ大会も行います! 今年も豪華景品を多数用意してお待ちしております。ビンゴになるかならないかはあなたの運次第です!

また、課外活動団体、学生有志、外部有志などによる個性豊かなステージも企画しています。ぜひお越しください!!



観客を魅了するウィンドアンサンブル

〔北山祭実行委員会〕

〔E-mail〕 kitayamasai.stage13@gmail.com



アイスホッケー部が王子製紙の「王子イーグルス」と2回目の交流

5月10日、今年創部60周年を迎える本学アイスホッケー部は、王子製紙アイスホッケーチーム「王子イーグルス」の主力2人と専属トレーナー1人を本拠地北海道から大阪に招いて交流を深めました。

当日は、本学アイスホッケー部のほか、姉妹校である摂南大アイスホッケー部員、同部OBなど約50人が参加しました。

王子イーグルスは、昨年度から大工大へ技術指導に来てくれており、強豪ひしめくアジアリーグで準優勝となったチーム。講習会では、小柳利哉トレーナーによるドライトレーニング(体幹トレーニング)の指導を受け、また、氷上クリニックでは荻野順二選手と斉藤毅選手による『本物』のプレーを目の前に、参加者は興奮を隠しきれない様子でした。

最後に本学アイスホッケー部主将山本啓示君(W4)は「この経験をステップにリーグ上位を狙います!!」と力強く語ってくれました。これで今シーズンの同部の活躍がますます楽しみになってきました。



実戦形式のゲーム練習を行う部員たち

ジャグリングクラブが毎週パフォーマンス



情報科学部ジャグリングクラブには、公共団体や教育施設からイベントの参加依頼が殺到していて、毎週どこかでパフォーマンスを披露しています。同クラブには45人の部員が所属しており、大学から始めた素人が大半ですが、顧問の佐野先生の指導のもと、日々の活躍が認められ、昨年度は学長表彰を受賞しました。

ジャグリングは、大道芸やサーカスなどで披露される道具を使った難しい技術ですが、彼らの活動はパフォーマンスを披露するだけでなく、子供たちに実際にジャグリングを教えるなど、ジャグリングの普及活動にも努めています。

今日もどこかでジャグリングクラブがイベントを盛り上げているかもしれません。そんな彼らを見つけたときは、少し立ち止まって彼らと一緒にイベントを盛り上げてください。今日も彼らは飛び回り、みんなに笑顔をプレゼントしています。ジャグリングクラブのさらなる活躍を期待してください。



各方面からひっぱりだこのジャグリングクラブ

漕艇部が『第51回 学長杯争奪レガッタ』を開催

6月15日、本校漕艇部主催の『第51回 学長杯争奪レガッタ』が開催されました。研究室をはじめ約40人(9チーム)の学生・教職員が参加しました。大会は、若干の雨風がありましたが、その天候に負けないぐらいの熱戦が繰り広げられ例年にも増して、大いに盛り上がりました。

閉会式後、同部主将森本大貴君(K3)は「今年で創部4年目から毎年続く、51回目という歴史ある大会を無事開催できたことをうれしく思います。今年は去年に比べて参加者のレベルが高く、僕たち現役が驚く好タイムを出したチームもたくさんありました。こういった機会に漕艇の魅力をどんどん知っていただければ幸いです。」と感謝の気持ちを述べました。

漕艇部は今年、新入部員37人を迎え、総勢63人という大所帯でさらなる躍進が期待されます!



力強くゴールを目指す学生チーム

祝

バドミントン部が大躍進! 3連続昇格で3部に

本学バドミントン部が5月23日、東淀川体育館で行われた関西外国語大学との入れ替え戦に3-2で見事勝利し、関西学生バドミントン連盟の3部へ昇格しました。

本学バドミントン部は、昨年の4月の時点では6部で活動していたクラブでしたが、昨年の春リーグで5部へ、秋リーグで4部へ昇格を果たしており、今年度の春リーグで見事、3部昇格を決めました。この大躍進に同部主将の山崎祥平君(V3)は「3部のチームは、4部から下のリーグのチームに比べて、1プレーごとのレベルが高いため、これまで以上に質の高い練習をこなしていかなければ勝つことができないと思います。大工大の強みは、各学年に有力選手を擁している豊富な選手層なので、今年はもちろん来年も期待していただき!!」と熱く語ってくれました。

今年も同部の活躍が楽しみな一年になりそうです。



2部を目指して練習に励むバドミントン部



ヨーロッパの2大学と学術交流協定を結びました 全世界で12カ国、22大学と交流

本学は、5月に相次いで、ヨーロッパの伝統ある大学と学術交流協定を締結しました。協定を結んだのは、スペインのサラマンカ大学とオーストリアのウィーン工科大学です。いずれも、井上正崇学長が現地に出向き、両大学の学長と調印式を行ったもので、スペインでは各種メディアに大きく報道されるなど、話題を呼びました。

協定は大学により細かな違いはあるものの、共同研究、両大学の人材の交流や学生の交換留学の展開など幅広い分野にわたっています。

大学の交流にもグローバル化の波は確実に押し寄せていますが、本学は他大学に先駆けて各地の大学と協定締結を進めてきました。今回の協定締結で、全世界で12カ国、22大学と協定を結んだこととなります。



協定書に署名する井上学長（左）とオーストリア・ウィーン工科大学のザイドラー学長



調印を済ませ握手するスペイン・サラマンカ大学のルイベレス学長（左）と井上学長

「100万人のキャンドルナイト @OSAKA CITY2013 Summer」に出展

6月5日と12日に大阪・梅田エリアで開催されたイベント「100万人のキャンドルナイト@OSAKA CITY2013 Summer」に本学工学部建築学科と空間デザイン学科の学生チームが出展しました。

例年夏至と冬至に合わせて実施されるこのイベントは、環境問題や暮らしを見つめなおす文化・社会的な活動イベントで、茶屋町・西梅田の各会場内にキャンドルを用いたさまざまな作品が展示されました。

会場は多くの人で賑わい、いろいろな色や形のキャンドルが光と陰のオブジェを演出。キャンドルの灯すあかりが普通の街並みとは違った幻想的な世界をつくりだしていました。



展示されていたキャンドルを用いた作品

後援会が定期総会を開催

6月8日、大阪工業大学後援会の2013年度定期総会が大宮キャンパスの多目的室で開催され、約300人の保護者が出席しました。

会則等の改正、2012年度の事業報告、収支決算報告に続き、2013年度の新役員・委員を選任。その後、事業計画、予算案が審議のうえ承認されました。

総会后、同会場で元外務省特命全権大使の田邊隆一特任教授による「グローバル競争の世界の中でいかに学ぶかー日本の生きる道ー」と題した講演会が開かれました。講演会終了後は、学部・学科ごとに会場を移し、希望者に対する個別相談会が実施されました。就職や奨学金に関する相談会も同時開催され、学業成績や学生生活、就職活動などについて、多数の出席者が熱心に相談されました。

食堂の
一押しメニュー

カレーフェア開催中!

- ★中央食堂1階 夏メニューとして、冷しうどん・冷しそば・冷し担々麺
- ★中央食堂2階 ポリウムのある日替り定食・作りたて焼そば
- ★中央食堂3階 手の込んだ幕の内弁当・体の事を考えたバランス定食

★15階カフェラウンジ

大学内で焼きたてパンが食べられます。
15階は焼きたてパンのいい香りがします。



*4種のカレーで6メニュー
カレーフェア

★図書館食堂

自家製タルタルソースたっぷりの
鶏南蛮定食



冷しざるうどん
(中央食堂1階)

やきそば
(中央食堂2階)

バランスランチ
(中央食堂3階)



鶏南蛮定食
(図書館食堂)



焼きたてパン
(15階カフェラウンジ)

就職 NEWS Vol.11

工大流就職支援

現3年生、大学院1年生対象の就職支援行事がいよいよスタートした。6月の就職ガイダンスに始まり、来年2月に実施される学内合同企業説明会まで就職支援行事が目白押しだ。さて、気になる雇用環境は好転しているのだろうか? 2008年のリーマンショック以降、就職関連の記事に関しては暗いニュースが続いている。リクルートワークス研究所によると2014年3月卒業予定の大卒求人倍率は、1.28倍(昨年度1.27倍)と横ばいの状況である。今年度も厳しい状況には変わりはないようだ。

そんな中で、みなさんの先輩となる2013年3月の卒業生、2014年3月の卒業見込生ともに工大生は健闘している。6月の内定率は、昨年度と比べ全体として約4ポイントアップし、好調なスタートをきることができた。まだ、未内定の学生はここが踏ん張りどころである。再度、今までの就職活動を振り返り指導教員、就職課スタッフなどと相談しながら就職活動を引き続き継続して欲しい。今年度も工大流就職支援実施中。